広報伊方町

発行所
愛媛県西宇和郡
伊方町
編集
町長公室
印刷所
尾上印刷所
八幡浜市大神通
電話 (0095)[illegible]

みのりの秋〝みかん一色〟

出荷期を迎え町内に活気

みのりの秋――町内の山々はみかん一色に染り、農家にとって一年中で最も忙しい収穫期を迎えました。

言い変えますと、町全体が活気づく時期でもあります。

ことしのみかんの出来は、豊作と夏の干ばつなどの影響でやや小玉傾向にあるものの比較的順調な天候に恵まれ、味・品質ともに申し分なく、収穫をする手の動きも軽快さが感じられます。

今、みかん農家では早生温州の取り入れにてんてこ舞い。今月二十日ごろに最盛期を迎え、おもに東京・大阪方面へ出荷されます。

――温州みかん豊作――

町内で一万一千トン

ことしの温州みかんの予想収量は約一万一千トン。豊作年にあたり、昨年より約一五パーセントの増収が見込まれています。

品質的にも昨年より優れ、糖度で二度あまり、精品率も大幅アップしそうです。

早生温州は、十月二十一日に五分着色百五十トンを初出荷。十五キロあたり最高七千七百円、平均二千八百円で販売されました。

昨年にくらべて十日間も早い初出荷です。

こうした品質・味・着色ともに向上した理由を農協では、密植園の間伐、せん定、防風垣の整備、摘果場内に、町の補助等により施設整備を計り、早期出荷したみかんをすべてカラーリング処理。品質の向上に努めているそうです。

味と品質で勝負する㊙みかん、ことしこそ、二年続きの価格低迷にぜひとも歯止めをかけてほしいものです。

高値の願い込め収穫始まる

中型自動車一台の税金 年間十五万八千円にも

ことしの四月現在、本町の自動車（自動二輪、軽四輪及び農耕用自動車等の合計）保有台数は約三千四十台です。

これは、町内一世帯に一・二台の割合になり、十年前にくらべると約四倍にも増えています。

ところで、ふだん私たちが何げなく使っている自動車やガソリンなどの燃料には、どのくらいの税金がかかっているかご存知でしょうか――。以外と知らない方が多いのではないかと思います。

自動車に係る税金の種類には、小売価格に含まれているものが物品税と揮発油税及び地方道路税、購入時や持主が直接支払うものに取得税、重量税、自動車税などがあります。

そこで、今月は自動車一台あたりの年間税負担額を見てみました。

□□自動車と税金□□

（例）小売価格 150万円
排気量 2,000ccの乗用車の場合

種類	基準	税率と税額	1年分
物品税	耐用年数 6年	17.5%（170,000円）	約28,300円
自動車取得税	〃	5%（75,000円）	12,500円
自動車重量税	2年ごと	重量0.5トンにつき 12,600円（37,800円）	18,900円
自動車税	毎年	総排気量による（34,500円）	34,500円
揮発油税	月100ℓ使用した場合	1ℓ……45円60銭	64,560円
地方道路税		1ℓ……8円20銭	
合計			158,760円

これらの税金は、国の一般財源として有効に活用されているほか、国や地方の道路整備に使われています。

また、これらの税金は、自動車に対する現状をよく理解し、便利な車社会をうまく利用したいものです。

このように、マイカー一台に年間約十五万八千円もの税金がかかっています。

しかし、私たちの現在の生活様式から見ますと、車なしでは考えられないのが現状です。ところが小売価格百五十万円で、排気量二千ccクラスの乗用車の場合を例に取りますと、上欄のとおりです。

県民体育祭
ソフトボール初優勝
三十歳以上の選抜チーム

県民体育祭八幡浜管内大会（県教育委員会など主催）が、十月二日から十五日大洲北中学校を主会場に開催され、ソフトボールに出場した本町選抜チームが初優勝を飾りました。

この大会は、スポーツを普及し健康の増進と体力の向上を図るために毎年行われているもので、ことし十四回目。それぞれの地区予選を勝ち抜いたチームが県下五会場に分かれ、ソフトボールなど五種目に熱戦が繰り広げられたものです。

優勝したソフトボールチームは、三十歳以上の男子で、一回戦から決勝戦までの四試合をすべてシャットアウト（相手に得点を与えないこと）で勝ち進み、晴れの栄冠に輝きました。

本町からの出場チームが八幡浜管内大会で優勝したのは、今回が初めてのことです。

出場選手はつぎのとおりです。

高月初彦、稲月周二、加藤安道、阿部頼久、登口亀次郎、吉川文敏（以上川永田）、佐竹元、佐竹勝久（以上中浦）、三好良裕（小中浦）

この人 この趣味

No24

百種類の「椿」を栽培
藤井民生さん（淡浦）

殺風景な部屋――花一輪でもあれば、なんとなく心なごむ思いがします。

今月の「この人、この趣味」は淡浦の藤井民生さん（五十九歳）を紹介します。

藤井さんの趣味は「椿」の栽培です。自宅裏には百五十本、およそ百種類におよぶ椿の鉢植えが所狭しと並んでいます。

椿は、春の木、早春に花をつけ葉は厚く光沢のある常緑大木で、古くから薬は不老不死、木は長く寿命の長いところから縁起のよいものとして重宝されてきました。

町内でもいたるところで自生。年明けの一月から四月ごろにかけて赤い可憐な花がたくさん咲きます。

自生している椿は、ほとんどが「ヤブツバキ」「ユキツバキ」と呼ばれる種類で、青森県あたりが分布の北限とされています。

藤井さんと椿の出合いは幼少のころからで、その美しさを深く認識されたのは、戦時中に千葉県の房総半島のある浜辺でのこと、ヤブツバキの花が濃緑の葉の中に点々と咲いているのを見て、戦地から帰ったばかりの藤井さんの目に、ひときわ鮮やかに感じたそうです。

その後、本や写真を参考に栽培方法を学びながら少しずつ収集を開始。本格的に取り組むようになったのは、昭和四十二年ころからで、店頭で買ったり、知人に分けてもらったりしているうちに、いつの間にか百種類あまりにもなったそうです。

椿の栽培は、わりに手がかからないそうで、藤井さんは自宅の裏庭で鉢植えにして栽培。病害虫の消毒のほかは、土の表面が乾くと水をやることと、年に二回程度の施肥で十分。

また、さし木やつぎ木で簡単に増植でき、三年ほどで美しい花を見ることができます。

近年品種改良が進み、開花期も九月からよく年五月までの長期間にわたり、赤や白の美しい花が先を競って咲くそうです。

これからも美しい花をたくさん咲かせ、人々の目を楽しませてください。

早咲きの「椿」と藤井さん

青年団チームも活躍
県大会で初の栄冠

ソフトボール熱の高い本町。九月二十日北条スポーツセンターで行われた、愛媛青年社会参加会議主催のソフトボール大会でも、町青年団チームが初優勝を成しとげました。

この大会には、県下各地の代表十二チームが出場。愛媛青年社会参加会議結成十周年を記念して、構成団体の親睦を深めるためにとして初めて開かれたものです。

町青年団チームは、圧到的な強さで初の栄冠に輝きました。

とうしたことを機会に、本町のスポーツがますます盛んになってほしいものです。

＝お　礼＝

大分市中央町三丁目二一九に住いの、浜中高松さん（中之浜出身）より二万円。

北九州市若松区赤島町一五一三に住いの、菊池千鳥さん（河内出身）より一万円。

富田林市寺池台五一一、四〇二に住いの、約場文子さん（川永田出身）より五千円。

一三〇三に住いの、福井東さん（仁田之浜出身）より一万円。

福岡市昭代町二ノ三五に住いの、西本鉄一さん（中浦出身）より二万円。

山口市中園町四一二四に住いの、山下月吉さん（淡浦出身）より一万円。

それぞれ広報編集費用にとご寄附いただきました。

紙上より厚くお礼申し上げますとともに、ことしますますのご健康と活躍をお祈り申し上げます。

町の話題
町見の農集電話118台
今月25日から 番号変わります

町見地区の農集電話（正しくは地域集団電話）が、今月二十五日水曜日午後二時から一般電話に変更され、番号が変わります。

今までの番号では電話が通じなくなりますので注意してください。

変更になる電話は、町見地区の百十八台で、町見九局のつぎの四ケタの番号の頭に八の数字がついている電話です。

たとえば、現在の番号が（九）―一一二三番になり、局番のつぎの八の数字がすべて一に変更されます。下三ケタは今まで同じです。

今までの電話は、一本の電話線を五台から十台単位で共用していたもので、時間帯によると話し中が多く、急用などの場合にはたいへん不便な状態でした。

今回の一般化により、新しいシステムで、これからの電話に対応でき、すぐつながる電話、として新登場します。

なお、新しい電話機は変更分だけを集録し、今月中旬ごろには、町内全戸に配布されることになっています。

新しい電話機（左側）の試験も完了

人

昭和56年8月末現在
世帯数 2,526戸（－8戸）
人口 8,738人（－22人）｛男4,183人（－5人）女4,555人（－17人）｝

えんむすび
昭和56年8月1日～8月31日

お誕生おめでとう
よい子に育ってください
昭和56年8月1日～8月31日

おくやみ
昭和56年8月1日～8月31日

〝伊方慕情〟歌詞募集
しめきり 十二月二十五日

伊方・町見文化団体振興協会では、〝伊方慕情〟の歌詞を広く募集しています。

歌詞は、子供から大人まで気軽に親しめ、伊方の人情風土がユニークに表現されているものとします。

一、募集期間
昭和五十六年十二月二十五日（金）まで

二、応募要領
資格――町内に在住する方、町内に勤務する方及び町出身者
送付先――伊方町中央公民館内、文化団体振興協会宛

三、制作と審査
来年一月二十日までに町内の有識者十人で審査し決定する。

入選……一点
佳作……若干

入選作は作曲して、来年三月に発表する予定です。

◇吹き込み◇
ビクターレコード専属歌手
加賀地規（淡浦出身）

四、表彰
入選者には、発表会において表彰状及び賞金を贈る。